

研究・知財戦略機構

研究・知財戦略機構

国際的な競争力を持った研究者育成のため、豊富なスタッフと優れた研究成果を集約し、「明治」らしい特色を持った研究を推進。その成果を社会に還元するシステムの構築を目指しています。

本学は、2005年に、学長を機構長として「研究・知財戦略機構」を設置しました。高等教育機関としての大学の役割は、高度な教育を実施することと併せて、多様な研究を促進することにあります。高度な科学技術の発展は、日本の将来を支える基盤となり、文部科学省は、国際的な競争力を持った研究者育成のため、大学の研究機能強化と大学院教育の充実のための政策を進めています。大学がさまざまな研究を促進し、国際的な研究拠点となることは、今や「国策」とさえ言えます。そのため、各大学は競争的環境のもと、各種の外部評価を受けながら、独自の特色ある教育研究を促進しています。科学の発展に伴い、研究分野の多様化が著しく、文理融合型の研究や学際分野の研究など、新たな領域に挑むことが求められています。本学は、こうした認識に基づき、全学体制のもと、豊富なスタッフと優れた研究成果を集約し、「明治」らしい特色を持った研究を推進し、その成果を社会に還元するシステムを構築することを目指しています。その役割を担っているのが、「研究・知財戦略機構」です。この機構では、新たな研究の創成をはじめ本学の研究活性化のための施策を立案し実行する「研

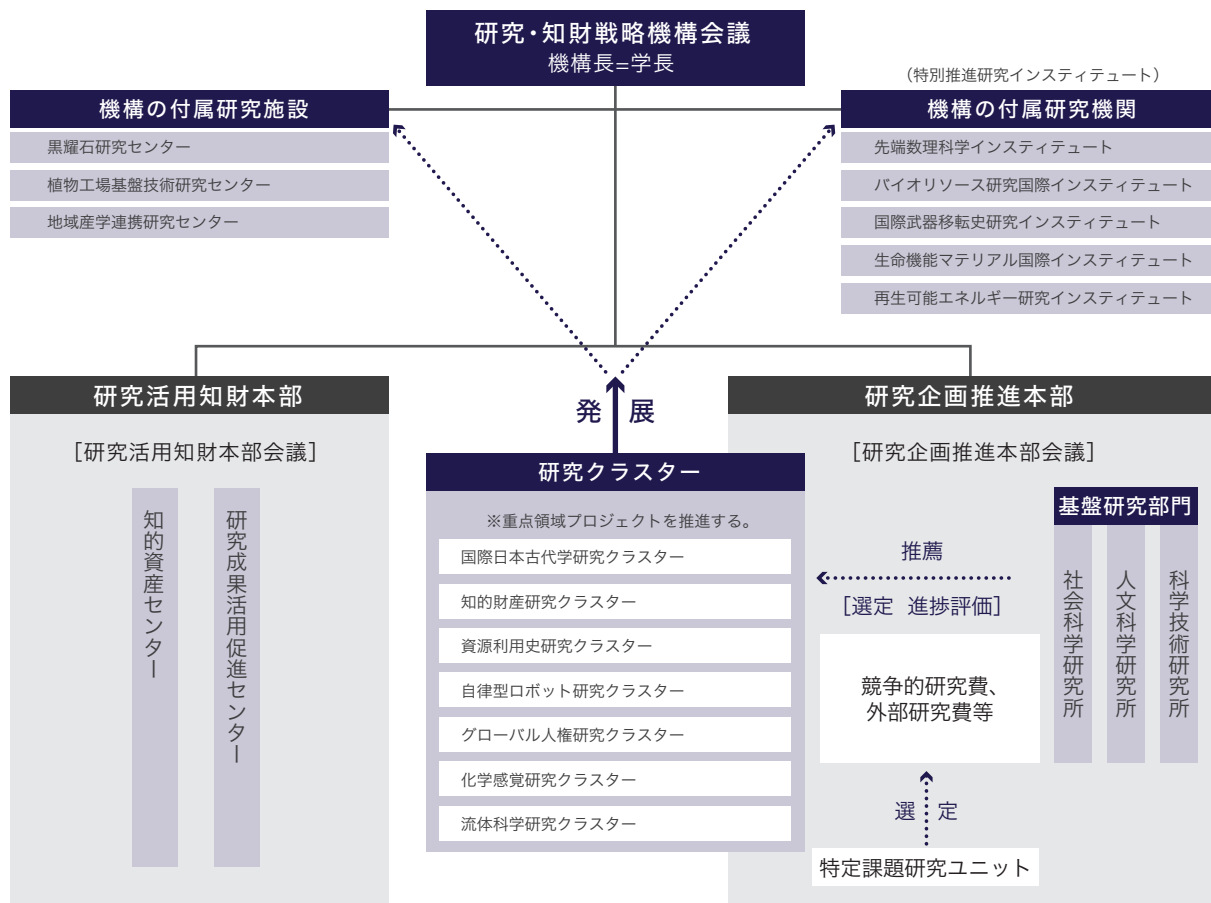
究企画推進本部」と、本学の知的資産を社会に還元するために大学と社会を結び付けるリエゾン機能を担う「研究活用知財本部」を中心に、多様な事業を展開しています。科学研究費助成事業をはじめとする外部研究費受入実績は年々増加していますが、今後も本学の研究を担う核として世界的水準の研究の推進と研究成果の社会への還元を目指しています。

また、世界的な研究拠点を構築するため、研究・知財戦略機構の付属研究機関として特別推進研究インスティテュートを置き、現在、5つのインスティテュートが研究活動を行っています。

更に、大学として研究を戦略的に推進し研究環境の重点的整備を行うため、研究クラスターおよび特定課題研究ユニットを設置し、研究の活性化に向けた活動を推進しています。

なお、黒耀石研究センター、植物工場基盤技術研究センターおよび地域産学連携研究センターが研究・知財戦略機構の付属研究施設として、活動を展開しています。

明治大学研究・知財戦略機構図



(2024年4月1日現在)